

# 病害虫発生予察情報

## 7月月報

令和3年8月23日  
東京都病害虫防除所

### 1 気象概況（東京都・東京管区气象台提供）

2021年 7月	気温(℃)						降水量 (mm)		日照時間 (h)	
	最高		最低		平均		平年比		平年比	
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	(%)	本年	(%)
上旬	26.1	-2.9	21.0	-0.1	23.0	-1.6	210.0	338	11.5	29
中旬	31.7	1.4	22.3	0.1	26.3	0.5	55.5	109	74.8	159
下旬	32.4	1.0	23.7	0.6	27.4	0.8	80.5	158	83.4	137
平均	30.2	-0.1	22.4	0.2	25.6	-0.1				
合計							346.0	211	169.7	115

※ 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

※ 平年差(比)：平年値(1991～2020年の平均値)からの差(比)

#### <天候概況>

上旬：本州付近に梅雨前線が停滞し湿った空気が流れ込み続けたため、ほぼ期間を通して曇りや雨の日が続き、特に1日から2日にかけては大雨となった。10日は晴れたが大気の状態が不安定となり夜には雷雨となった。

中旬：梅雨前線の影響で前半は曇りや雨の日が多くなったが、後半は高気圧に覆われて晴れた日が多くなった。なお関東甲信地方は7月16日ごろに梅雨明けしたと見られる(速報値)。

下旬：前半は高気圧に覆われて晴れの日が多くなった。後半は台風や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなり、大雨の日もあった。

### 2 作物生育概況

#### (1) イネ

生育は概ね順調であった。

#### (2) 野菜類

果菜類：生育は順調であった。

葉根菜類：キャベツ、ブロッコリー、カリフラワー、ニンジン等の播種が始まった。ニンジンは高温乾燥による発芽不良が見られた。

イモ類：サツマイモの生育は順調であった。

#### (3) 果樹

農林総合研究センターの果樹圃場(灰色低地土)におけるナシ主要品種の生育状況は以下のとおりであった。

幸水：概ね順調な生育を示した。天候による生育の遅延等は見られなかった。

## (4) 茶樹

生育は順調であった。

## 3 病害虫の発生概況

## (1) イネの病害虫

いもち病（平野部）	< 少 >	発生は少なかった。
いもち病（山間部）	< やや少 >	発生はやや少なかった。
紋枯病	< 少 >	発生は少なかった。
ニカメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
イネツトムシ	< 少 >	発生は少なかった。
コブノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
ヒメトビウンカ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
セジロウンカ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
斑点米カメムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

## (2) 果樹の病害虫

## ナシ

黒星病	< 並 >	発生は平年並であった。
黒斑病	< 並 >	発生は平年並であった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。

## 果樹共通

チャバネアオカメムシ	< 少 >	フェロモントラップ及び予察灯における誘殺数は少なかった。
クサギカメムシ	< 並 >	予察灯の誘殺数は平年並であった。

## (3) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< 並 >	発生は平年並であった。
チャハマキ	< 並 >	発生は平年並であった。
チャノホソガ	< 並 >	発生は平年並であった。
ナガチャコガネ	< 少 >	発生は少なかった。

## (4) 野菜の病害虫

## トマト

モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
白ぶくれ症	< 並 >	発生は平年並であった。
オンシツコナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
タバココナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
タバコガ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

## キュウリ

うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
べと病	< 並 >	発生は平年並であった。

## ナス

うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ニジュウヤホシテントウ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノホコリダニ	< 少 >	発生は少なかった。

## コマツナ

白さび病	< 少 >	発生は少なかった。
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
キスジノミハムシ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

## ネギ

黒斑病	< やや多 >	発生はやや多かった。
ネギアザミウマ	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギハモグリバエ	< 並 >	発生は平年並であった。

## (5) 花きの病害虫

## シクラメン

ホコリダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。

## 花き共通の病害虫

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

## (6) 植木の病害虫

## 街路樹など

チャドクガ	< 並 >	発生は平年並であった。
-------	-------	-------------

## (7) 島しょの病害虫

三宅島：野菜類全般でコナジラミ類の発生が多かった。  
その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

## 4 ミバエ類等侵入警戒調査

チチュウカイミバエ	< 誘殺なし >
ウリミバエ	< 誘殺なし >
ミカンコミバエ種群	< 誘殺なし >
コドリンガ	< 誘殺なし >

## 病害虫防除所ホームページ

<https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/nourin/shoku/anzen/boujyo/>

病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法、  
防除のポイントなどをお知らせしています。